

現在の大学入試改革では高校生が何を学び、どのような困難を経験し、その結果どのような力を身につけたか、という活動履歴をより丁寧にみる方向に変化しようとしています。笠岡高校の総合的な探究の時間「ACT」では、「未来開拓力」*を育むことで完全対応しています。

*「未来開拓力」とは、本校のキャリア教育目標であり「社会の中で役割を果たしながら自分らしい 生き方 を実現し、新しい知や価値を創造し ていくために 必要な6つの資質・能力」と定めています。



笠岡高校オリジナル
キャリアノートを使用

○自らの未来を考える「キャリア探究」を充実させています

積極的に校外に出かけ、外部の講師を活用するなど、多くの体験の場があります。

- ・ 広島大学訪問…総合大学に出かけていき、大学の学びや雰囲気を味わい、文理の選択に役立てます。



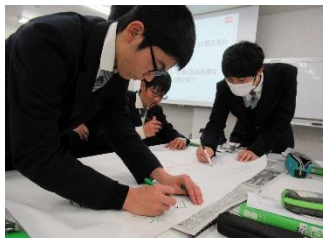
午前中に大学概要説明を受け、昼食は大学の学生食堂でとりました。午後からは希望する学部を訪ね、研究室の見学などをしました。

- ・ キャリア研修…修学旅行で、関東でしか味わえない訪問研修を生徒自身で計画、実施します。



修学旅行では、グループで計画を立て、キャリア研修を行いました。本校卒業生に東大の魅力を聞いたり、研究所や企業での体験を伴う研修を実施しました。

- ・ 企業訪問…地元の企業を訪問し、社会のあり方や社会と自分のよりよい関わり方を考えます。



地元で高い理念のもとグローバルに展開している企業を訪問し、現場で働く職業人の生の声を聴きました。

○社会の未来を考える「課題探究」を実施しています

地域や大学と連携して、自らの興味関心にあったテーマで、生徒自身が深い学びを経験します。

- ・ 地域学…「笠岡（ローカル）を考える」をテーマとした調査探究活動



笠岡市長講演会や笠岡市職員からのレクチャー、現地視察、福山市立大学の先生や学生の協力を得ながら探究を進めました。ポスター発表会では、地域の方もお招きし、活発な意見交換ができました。

- ・ テーマ探究…「笠岡から世界（グローバル）を考える」をテーマとした調査探究学習



岡山大学・清心女子大学の先生の基調講演「研究の楽しさ」に始まり、半年間で「地域学」で培った探究手法を活用して、研究を進めていきました。学校には同時に 100 人以上が PC を使え、学校図書館も積極利用できる環境を整え、探究を支援します。1 年の地域学発表会とともに、優秀な研究は発表、表彰をします。

千鳥の ACT は系統的な探究活動で生徒一人ひとりの志を育みます